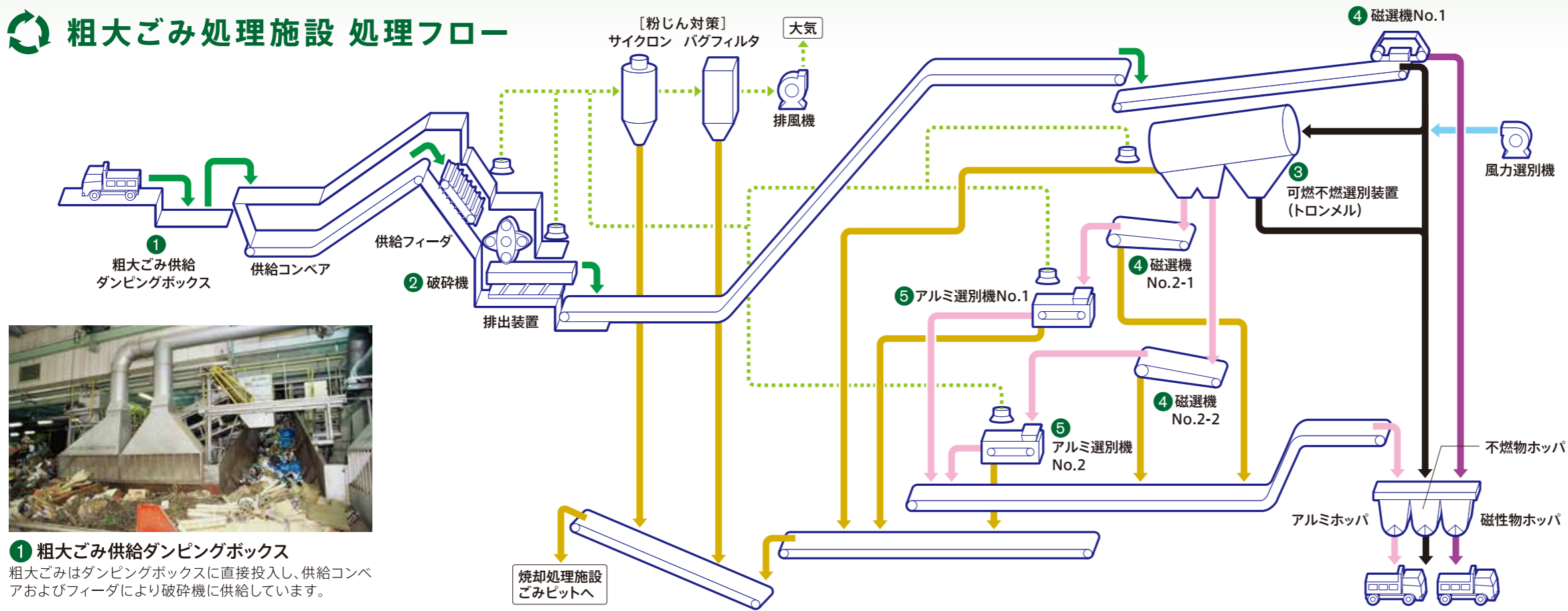


粗大ごみ処理施設 処理フロー



1 粗大ごみ供給ダンピングボックス

粗大ごみはダンピングボックスに直接投入し、供給コンベアおよびフィーダにより破碎機に供給しています。



2 破碎機

破碎機で破碎した粗大ごみは、コンベアで可燃不燃選別装置(トロンメル)に送っています。



3 可燃不燃選別装置(トロンメル)

トロンメルは円筒状の形状で、回転しながら破碎ごみを可燃物と不燃物にふるい分けします。不燃物はさらに選別して貯留ホッパに、可燃物はごみ焼却施設のごみピットに送っています。



4 磁選機

不燃物中の鉄分は磁選機により選別し、磁性物ホッパに送っています。



5 アルミ選別機

不燃物中のアルミニウムはアルミ選別機により選別し、アルミホッパに送っています。

粗大ごみの流れ → 可燃物の流れ → 不燃物の流れ →

粗大ごみは破碎機により細かく破碎します。破碎物は磁選機によって磁性物を回収し、可燃不燃選別装置でアルミと不燃物と可燃物に選別した後、さらにアルミ選別機でアルミを回収します。回収された磁性物とアルミは資源としてリサイクルされます。選別された不燃物は不燃物ホッパに貯留後、埋め立て処分されます。可燃物は焼却処理施設に運ばれます。

磁性物の流れ →

回収された磁性物は場外へ搬出され、再生工場加工され、建築工事に使われる鉄筋や薄板などの鋼材に生まれ変わります。

アルミの流れ →

回収されたアルミは場外へ搬出され、再生工場加工され、様々な機械や自動車などの部品に再生されます。

粉じんの流れ →

処理する過程で発生した粉じんは、サイクロンやバグフィルタで、捕集したのち排気し、大気汚染防止を図っています。

リサイクルセンター



建設概要

- 建築面積: 1,584㎡
- 破碎機型式: 衝撃型
- 処理能力: 50t/5h
- 竣工: 昭和62年3月
- 事業費: 709,000,000円

設備概要

受入設備

- ダンピングボックス 1基
- 供給コンベア 1基

破碎設備

- フィーダ 1基
- 破碎機 1基
- 破碎物排出振動コンベア 1基

分別設備

- 磁選機 3基
- 可燃不燃選別装置(トロンメル) 1基
- アルミ選別機 2基

搬出設備

- 破碎物コンベア 2基
- 篩中間物コンベア 2基
- ダストコンベア 1基
- アルミ類コンベア 1基
- 可燃物コンベア 4基

貯留設備

- 不燃物ホッパ 1基
- 磁性物ホッパ 1基
- アルミ類ホッパ 1基

集塵設備

- 投入部用バグフィルタ 1基
- 投入部及び破碎分別用排風機 1基
- 破碎分別部用サイクロン 1基
- 破碎分別部用バグフィルタ 1基

酒々井リサイクル文化センターに搬入される粗大ごみの中には、まだ使えるものがたくさんあります。リサイクルセンターは、「限りある資源の再利用」「ごみの減量」「高齢者の就業」を目的として平成4年に開設しました。このリサイクルセンターでは、ごみとして捨てられた家具類や放置自転車の中から再利用できるものを選び出し、修理を行って再生、展示、販売しています。

建設概要

- 建築面積: 864㎡
- 竣工: 平成4年2月
- 事業費: 142,655,000円